

IV 看護部の現況と研究研修事項

【看護部の人員について】

令和5年度は、常勤看護職員537名、非常勤看護職員47名の合計584名でスタートした。採用者数は4月に55名（うち新卒者54名）、さらに年度途中で7名、合計62名であった。退職者数は年度途中で19名、3月末に43名、合計62名であった。全体の退職率は11.45%（前年比+1.05の増加）、新卒1年未満の退職率は5.45%（前年比-8.55の減少）であった。退職理由の最も多いものは、転居もしくは配偶者の転勤29.0%、次いで適正・能力不安14.5%であった。能力・適正不安を理由とした退職は、新卒と2年目で占められていた。コロナ禍の影響を鑑み、次年度以降も研修やOJTについて検討を続けていく。

【看護部の活動について】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した今年度は、感染症拡大以降に縮小を余儀なくされた診療機能の正常化と経営の健全化に向けて病院全体で取り組むこととし、看護部は以下の目標を掲げた。

令和5年度 看護部目標

- 1 新たな診療科編成での病床を効率的かつ安全に運用する。
地域との連携を強め、急性期病院として円滑に患者を受入れる。
- 2 がん、救急、専門医療の充実に必要な看護の知識・技術の向上につとめる。
- 3 看護の質向上と看護業務の効率化をふまえたタスク・シフト／シェアを推進する。

1について

4月は病棟診療科を再編成した体制で新たなスタートとなった。新型コロナウイルス感染症の入院対応は、引き続き3階北病棟とした。令和2年以降、感染症病棟として使用されていた4階北病棟は、整形外科、皮膚科、形成外科の病棟として再開し、同時に5階南、6階南、7階南病棟は消化器センター病棟として編成された。また総合内科と救急診療科の病床も新設された。これにより、多くの病棟で看護職員の配置を変更し、それぞれが学習を積みながら新しい診療科での患者看護に臨んだ。また救急患者をより円滑に受け入れられるようそれぞれの病棟、外来部門で取り組んだ。結果として年間の病床稼働率は77.6%（前年度71.7%）にとどまったが、年度中は徐々に上昇し、1月以降は80%台であった。年間の平均在院日数は9.9日（前年度10.2日）と短縮し、効率的に病床を運用できた。

2について

看護職の能力評価ツールとして看護部クリニカルラダーを活用していたが、看護職としての専門能力をより客観的に評価し育成することを目的に、日本看護協会の「看護実践習熟段階」に基づいた評価システムを作成した。

今年度は豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会にがん看護部会が発足した。当院のがん看護専門看護師らが参加する部会では、地域でのがん看護の質向上をめざし、知識や技術の引き上げを図る取組みを開始した。また、今年度は専門看護師1名が遺伝カウンセラー養成課程に進学した。

3について

看護補助者に関しては、日勤帯の補助者は慢性的な人員不足が続いており患者の身体ケアなどはタスクシェアできていない状況である。令和4年より導入した夜間看護補助者については、遅出、夜勤帯の看護師の業務負担を軽減できており、配置数と時間帯の拡大を検討したい。

特定行為研修修了者が4名となり、今年度は1名が研修を受講した。特定行為の実践に向けてワーキングを重ね、救急外来での特定行為実施までの整備を行なった。次年度は「看護師特定行為管理委員会」を発足させ、提供する診療やケアの質を保障しながら、看護職員を含むすべての職員が働きやすくなるための特定行為実施のあり方を検討していく予定である。

1. 看護部委員会

委員会名	目 的
看護の質向上委員会	看護の質向上をめざし、効果的かつ効率的に業務を遂行するために評価・改善し、患者の立場に立った、誠実で質の高い看護を提供する。
教育委員会	高い看護実践能力を獲得するための効果的な教育プログラムを企画・運営し、優れた専門職業人を育成する。
記録委員会	看護実践、評価に役立てるため看護記録の充実を図り、記録全般の検討、調整、指導を行う。
看護安全管理委員会	発生したインシデントについてインシデント内容を調査、分析し、必要な対策を講じることで看護部におけるインシデントの発生を防止する。
キャリア開発委員会	専門看護師・認定看護師が、専門的役割を発揮し、組織の中で活動することを支援する。
看護補助業務委員会	病棟補助員の教育を企画し、知識・技術の向上を図り、看護補助業務ができる人材の育成をはかることや看護師と効果的な協働ができる。
看護研究推進委員会	看護の質向上をめざし、院内の看護研究の充実、推進を図る。

2. 委員会報告

教育委員会

年間計画に基づき卒後必須研修、役割研修、院内講義46研修を実施し、参加人数は2,004人であった。卒後必須研修では、卒1コースから卒2コース、卒3コースと学びを継続する仕組みで構成した。また、各研修では、研修担当者が研修目的に沿ったファシリテーションを実施し支援することで、受講生の多くは研修目的を達成することができた。管理者研修として、師長・副師長を対象とした「現状分析・問題解決思考」の研修を実施した。研修後アンケートでは「現状を細分化することで課題を導き出すプロセスを学ぶことができた」など看護管理に必要な問題解決のプロセスについて学ぶことで、各部署での目標や課題設定などの実践に活かすことができる研修となった。

院内講義「演題発表会・専門認定活動報告」では、がん性疼痛認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、摂食・嚥下障害看護認定看護師が活動報告を行った。事例を用いながら認定看護師の支援内容や活動内容など、わかりやすく講義された。受講者アンケートからは、「認定看護師の活動内容を知ることができた」「難しい症例など相談してみたいと思った」などの意見があり、認定看護師の活動を広く知ってもらう機会となった。教育委員主催研修では、前年度、好評だったため今年度も同じテーマの「要約力」をテーマに実施した。「申し送り」事例を提示し、どのように要約するのかを講義とグループワークで検討した。今後も受講生のレディネスやニーズに着目し、研修での学びを看護ケアに繋げる研修内容の検討に取り組んでいく。

業務担当副師長会

今年度、患者支援室が開設されたことから、患者支援室の役割を理解し業務効率を高めるため入退院支援チームをつくった。外来を含めた入退院支援の現状から問題点の洗い出しを行った結果、マニュアルの見直し、入退院支援についての教育支援、退院支援加算の算定率を上げることが課題とわかり次年度の取り組みとした。タスク・シフト／シェアチームは、看護補助員と協働して働く環境を整えるために看護補助業務委員会の作成したマニュアルを活用し、定期的な能力評価と多様な働き方をする看護補助員の業務内容の調整と見直しを行うリンクナースの活動支援を役割に加えることにした。また、タスク・シフト／シェアの一環として中心静脈カテーテル管理を看護師が施行するためのマニュアル作成と教育体制を整えた。重症度、医療看護必要度について、新人看護職員への研修の実施と全看護職員に対して動画による学習、テストを実施した。

キャリア支援担当副師長会

キャリア支援担当副師長は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴うスタッフの配置転換や病棟編成など業務内容の変更により、中堅スタッフの育成が十分に行えていないのではないかという思いがあり、「キャリア支援担当副師長の困り事」を問題解決フレームワーク「PDP」(Problem-Discovery Process)を用いて解決策の検討を行った。検討の結果、「病棟編成に関わる困りごと(教育面のサポート、知識・経験不足)」に対しては、“各部署のマニュアルを共有し活用する”“キャリアシート(経歴シート・いまみらいシート)を活用し個々の看護実践能力を発揮させる仕組みをつくる”。「リーダー層の育成」に対しては、“キャリアシートやラダーを活用しリーダーシップを発揮できる環境を整え、積極的に動機づけを行う”。「配置転換者支援(精神面)」に対しては、“サポートナース制度が十分機能しておらず配置転換者の実力が発揮できない現状について、サポートナースと配置転換者の双方への支援を行う”。「キャリア支援担当副師長としてのあり方」に対しては、“スタッフのキャリアや個々の目標を把握するため、キャリアシートを活用し中長期目標などを把握し面談を行う”ことの重要性があがった。これらの課題を次年度の活動に繋げていく。

院内研修では、卒3「事例研究」、卒2「重症化リスクアセスメント」「臨床推論」、役割研修「匠」「実習指導者」を担当した。成人学習と経験学習サイクルをもとに研修を実施した。各研修の受講生の満足度はおおむね高かった。

新人教育担当副師長会

卒後1年目、2年目に対し、年間教育計画にそって研修を実施した。集合研修と部署内教育の連動を重視し取り組んだ。今年度は、ローテーション研修に外来を追加し、継続看護の視点が持てるように支援した。また、新人看護職員の定着を図るため年3回、各部署で面談を行い、職場への適応状況を把握し精神的支援を実施した。

キャリア開発委員会

8回の会議と、2回の専門認定看護師連絡協議会を開催した。キャリア研修は、eラーニング作成のサポートを行い、35のコンテンツを全て年間計画通りに配信し、1コンテンツにつき20～170名の受講者の確保に貢献した。また専門認定看護師の活動報告書の形式を変更し、活動の目標や内容を可視化した。さらに専門認定看護師連絡協議会は、専門認定看護師が自己の役割や活動における課題を明確にし、活動することを目的に、企画・運営した。PDCAサイクル表を用いて活動の振り返りを行い、他者と意見交換することで、問題解決思考の重要性の気づきを得る機会となった。

看護研究推進委員会

会議は4回開催した。看護研究を身近なものとし、研究に触れる機会を持てることを目的に活動を行った。①院内ホームページをリニューアルし、日々の看護実践を研究にするプロセスを紹介し、初めて看護研究に取り組む人にもわかりやすいよう具体的な研究の進め方を示した。②初学者や経験者が学習を深められるよう、看護研究に関する3冊の推薦図書を選定し、院内図書に追加した。③ニュースレターは2号発行し、推薦図書の紹介、既存の学習ツールとしてナースिंगスキルの動画講義を紹介し、活用を促進した。

記録委員会

看護記録の充実を図ることを目的に、監査委員と協働し監査実施率の上昇をめざした。各部署の監査委員からの監査実施率の低迷に対しては、監査の必要性の周知の難しさやカンファレンス・監査する時間確保の難しさがあがった。監査に対する学習会などを実施し監査率が向上した部署もあれば、効果が低い部署もあった。そこで、監査実施に関する意見を収集し、それをもとに監査の学習会資料を記録委員会で作成した。次年度は、作成した資料を使用し監査学習会を実施し、看護記録の質向上に努める。

卒1研修「看護記録」では、「看護記録の目的を理解し、正しく記録することができる」、「看護過程がみえる記録とは何かを理解できる」を目的に実施した。看護計画の立案から実践記録までの理解をすすめ、研修後は監査委員による看護記録の実践と評価を実施した。監査委員には、卒1研修後の看護記録・看護計画立案のOJTを依頼した。研修後のOJTを監査委員に依頼する事で、監査委員としての役割達成に繋げることができたと考える。

看護の質向上委員会

看護の質向上をめざし、効果的かつ効率的に業務を遂行することを目的に、業務改善・挨拶推進運動について活動した。業務改善として、令和7年度の病院機能評価受審に向け、検査手順および看護手順の改定をおこなった。各部署でも病床再編に伴う業務内容の変更に対応するため、部署内の業務マニュアルの見直しなどをおこなった。挨拶推進運動では、引き続き標語の提示と呼称で定着につなげた。また、接遇マニュアルにおける靴下のルールを見直し、身だしなみの基準を時代に合わせるよう取り組んだ。

前年度から引き続き公益社団法人日本医療評価機構が提供する「患者満足度・職員やりがい度活用支援プログラム」を活用し、看護職員やりがい度調査を実施した。前年度と比べ総合評価は上昇し、全体としての傾向に変化はみられなかった。「雰囲気や人間関係」のみ満足度が低下しており、新型コロナウイルス感染症拡大による人間関係の変化や病床再編によるメンバー構成の変化からの影響が考えられた。ベンチマークにおいて「学習や成長」「上司への信頼」が高く、当院の強みであることがわかった。しかし「勤務条件」は前年度と同様低い結果になり、業務の効率化を図ることが課題であることがわかった。

看護補助業務委員会

看護補助者による業務実施の推進を目的に、看護補助業務マニュアルの改定、技術チェックリスト及び運用マニュアルの見直しを行った。また、看護補助者業務指示書を導入し看護補助者との協働やタスク・シフト／シェアの推進に努めた。看護補助者業務指示書の周辺業務には各勤務帯のタイムテーブルを作成、週間予定も組み込み活用できるようにした。直接業務は看護ケア項目の立案と実施入力で指示・記録とし、看護ケア項目の統一を図った。

今年度の研修計画では、急変時対応の講義と演習を追加し実施した。患者急変時の看護補助者としての役割と対応について学ぶことができた。

看護安全管理委員会

令和4年度に引き続き、令和5年度も患者に安全・安楽な療養環境を提供するための看護ケアの質向上を目的に、安全対策カンファレンスの実施に取り組んだ。令和5年6月から各病棟で開始し、実施された延べ444件/月の記録を監査したところ、カンファレンスは実施できているが、内容は身体抑制解除の有無のみを検討していることが多かった。そのため、安全対策カンファレンスの目的は、身体抑制解除の有無の検討ではなく、患者に安全安楽な療養環境を提供するための具体的な看護ケアについて検討することであると、師長会・業務担当副師長会で再度周知し、現状と課題について話し合ってもらった。話し合いの結果、各病棟でカンファレンスの進行や意見の活発化、具体的な看護ケアの実践に課題があることがわかった。安全対策カンファレンスによる看護ケアの検討をさらに促し安全対策カンファレンス実施件数は、延べ633件/月と増加した。引き続き安全対策カンファレンスの実施により、身体抑制に対して抵抗感の高い職場風土作りに取り組み、看護ケアの実践により安全・安楽な療養環境を提供していく。

3. 在職者分析

1) 平均年齢および平均在院年数

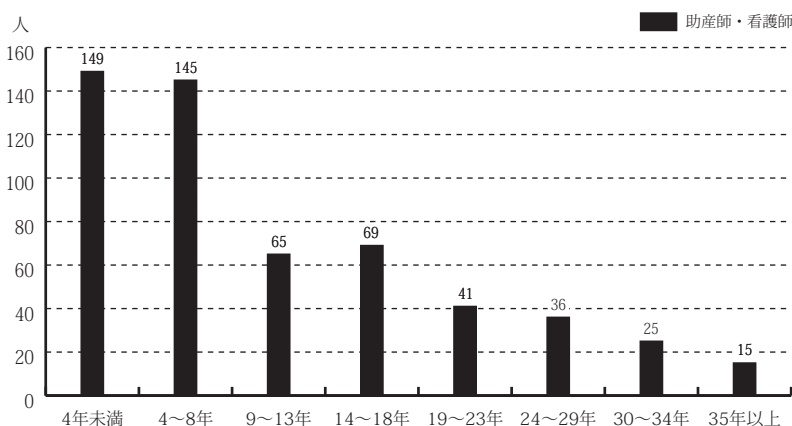
(1) 令和5年度

年齢別 職種別	採用			退職			在職者		
	人数	平均年齢	経験年数	人数	平均年齢	経験年数	人数	平均年齢	経験年数
看護師 助産師	人 62	歳 23.6	年 0.6	人 62	歳 30.3	年 8.0	人 545	歳 36.4	年 11.8

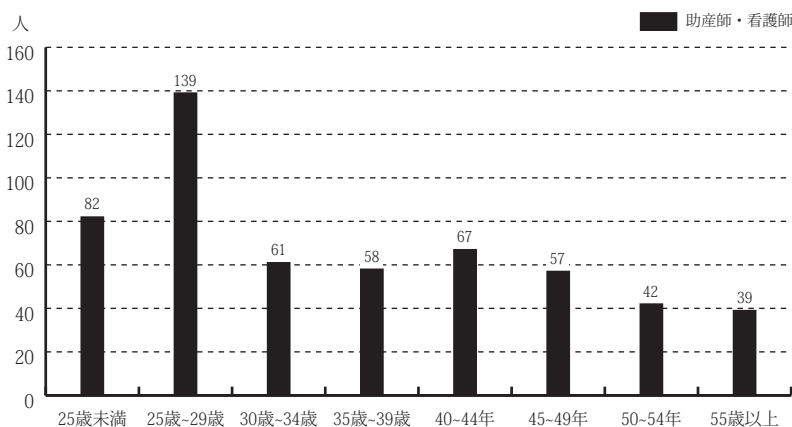
(2) 過去5年間の比較

年度別 項目別 職種別	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	総 数	平均 年齢	在職 年数	総 数	平均 年齢	在職 年数	総 数	平均 年齢	在職 年数	総 数	平均 年齢	在職 年数	総 数	平均 年齢	在職 年数
看護師 助産師	人 503	歳 35.4	年 10.2	人 512	歳 35.6	年 10.3	人 527	歳 36.3	年 12.9	人 524	歳 36.6	年 13.1	人 545	歳 36.4	年 11.8

(3) 勤続年数



(4) 年齢別構成



4. 現任教育

1) 院内における教育

(1) 院内教育計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
卒業後必須研修	卒1年目	オリエンテーション 基礎看護技術演習 基礎看護技術演習	10 社会人基礎力 30 メンタルヘルス	20 心電図（自由参加） 救急蘇生 29 コミュニケーションスキル①	12 看護記録① 26 医療安全	9 コミュニケーションスキル② 必要度（どちらかに参加） 17 24	21 考えて行動する基礎看護 ローテーション研修
	卒2年目		31 重症化リスクのアセスメント	事例から考える看護③ （事例を各自で読む） 6・8 事例から考える看護④ （どちらかに参加）	5 達人への道①		13 事例から考える看護① （どちらかに参加） 14
	卒3年目						
役割研修	リーダーシップ				4 リーダーシップA 27 リーダーシップB		
	継続看護						27 継続看護②
	ブライゼ						
	指導者研修					2 匠 フォローアップ	
	実習指導						
管理				21 管理者研修①			20 管理者研修②
院内講義				28 看護の動向			5 継続看護①

キャリア研修	感染管理				感染対策の必要性を考える（e：7～8月公開）	病院で気をつける微生物を学ぶ
	高齢者看護					
	母性 新生児集中			新生児の反応からケアを考えてみよう（e：6～7月公開）		
	糖尿病看護			インスリン療法の基礎知識（e：6～7月公開）		指導に活かせる食事療法の基礎知識
	手術看護		手術出棟と全身麻酔の観察、術後疼痛管理（e：5～6月公開）	食道がんの手術を学ぼう（e：7～8月公開）		
	集中ケア			ショックと侵襲について（e：7～8月公開）		
	摂食嚥下		口腔ケアの基礎知識（e：5～6月公開）	安全な食事介助について（e：7～8月公開）		
	家族看護		誰でもできる！家族との援助関係の構築（e：6～7月公開）	退院支援における家族看護（e：8～9月公開）		
	皮膚排泄 ケア		ストーマケアの基礎知識（e：5～6月公開）	11 ストーマケアの基本技術 17：00～18：00	ケアに活かせる創傷の基礎知識（e：8～9月公開）	
	脳卒中 リハ					脳梗塞患者の看護をマスターしよう
	慢性 心不全					
	がん看護	治療に伴う看護	がん薬物療法の基礎（e：5～6月公開＋ナースングススキル）		がん薬物療法における急性毒性①アレルギー（e：8～9月公開）	
		緩和ケア		放射線療法の基礎（e：6～7月公開）		
						痛みの特徴・鎮痛薬の基礎と看護

管理研修	看護協会	ファースト	5/16～6/29	ファースト	7/19～8/30	
				セカンド	6/1～8/9	セカンド

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
4	半年の振り返り	1	褥瘡評価	5	フィジカルアセスメント	10	専門職としての看護師の役割	7	救急蘇生フォローアップ	6	看護記録②
12 18	倫理の基礎（どちらかに参加）									21	1年の振り返り
25 26	事例から考える看護② （どちらかに参加）			21	達人への道②（シャドー研修実施後の研修）			28 29	事例から考える看護③ （どちらかに参加）		
		21 22 29	「事例から考える看護」 発表会	6 13 14	「事例から考える看護」発表会			8	臨床推論	13	メンバーシップ
						11 25	リーダーシップAフォローアップ リーダーシップBフォローアップ				
11	プリセプターフォローアップ					18	プリセプター				
						31	匠				
		8	実習指導の基本					10	実習指導の実際		
				20	管理者研修③			21	管理者研修④		
30	病院の経営					31	演題発表会＋専門認定活動報告			19	教育委員発表会
(e：9～10月公開)		16	臨床推論につながる 感染症の基礎知識 17：00～18：00								
			高齢者のせん妄看護 応用編（e：11～12月公開）			認知症高齢者の尊厳を守る看護（e：1～2月公開）					
			新生児の呼吸と体温管理の基礎（e：11～12月公開）								
(e：9～10月公開)						18	その人らしさを尊重する 糖尿病看護 17：00～18：00				
周術期の看護（ICUにて開催）						術式別観察ポイント（e：1～2月公開）					
			急性期輸液の基礎知識								
摂食嚥下の解剖生理と評価（e：10～11月公開）						15	摂食嚥下の看護介入について 17:00～18:00				
家族の意思決定支援（e：10～11月公開）				8	家族とのコミュニケーション 17：00～18：00						
創傷ケア～正しく使おう！創傷被覆材～（e：10～11月公開）											
(e：9～10月公開)				院内脳卒中を見逃さない（e：12～1月公開）							
			知って得する！心不全の基礎知識（e：11～12月公開）								
がん薬物療法における急性毒性②血管外漏出（e：10～11月公開）				がん薬物療法の副作用（e：12～1月公開）							
治療におけるむくみのケア（e：10～11月公開）				放射線療法に伴う有害事象のケア（e：12～1月公開）							
(e：9～10月公開＋ナースングススキル)			もう戸惑わない！がん患者とのコミュニケーション（e：11～12月公開）			30	患者の療養を支える看護 17：00～18：00				
						ファースト 12/5～1/30					
8/29～11/8						セカンド 11/28～2/7					

(2) 対象別教育内容と参加状況

卒後コース

対 象	研 修 名	参加人数
新 規 採 用 者	総合オリエンテーション	880
卒 後 1 年 目	社会人基礎力	51
	メンタルヘルス	51
	救急蘇生	54
	コミュニケーションスキル①	53
	看護記録①	54
	医療安全	46
	コミュニケーションスキル②	54
	看護必要度	54
	考えて行動する基礎看護	52
	半年の振り返り	48
	倫理の基礎	52
	褥瘡評価	54
	フィジカルアセスメント	54
	専門職としての看護師の役割	52
	救急蘇生フォローアップ	51
	看護記録②	51
	1年の振り返り	49
卒 後 2 年 目	重症化リスクのアセスメント	40
	達人への道①	39
	事例から考える看護①	33
	事例から考える看護②	35
	達人への道②	32
	事例から考える看護③	29
卒 後 3 年 目	事例から考える看護④	23
	臨床推論	19
	メンバーシップ	19
リーダースhip	リーダースhipA②	29
	リーダースhipB③	22
	リーダースhipA④フォローアップ	29
	リーダースhipB⑤フォローアップ	20
継 続 看 護	院内講義：継続看護①	69
	継続看護②	16
プ リ セ プ タ ー	プリセプターフォローアップ	36
匠	匠フォローアップ	19
	匠ナース	17
実 習 指 導	実習指導の基本	18
	実習指導の実際	15
合 計		2,319

キャリアコース

分 野	テーマ	参加人数
皮膚排泄ケア	ストーマケアの基本技術	4
感染管理	臨床推論につながる感染症の基礎知識	6
家族看護	やってみよう！家族とのコミュニケーション	11
がん看護	患者の療養を支える看護	21
摂食嚥下	摂食嚥下の看護介入について	4
合 計		46

eラーニング研修

公 開	テーマ	受講者
5－6月	手術出棟と全身麻酔の観察	134
	術後疼痛管理	141
	口腔ケアの基礎知識	69
	ストーマケアの基礎知識	171
	治療の基礎：がん薬物療法の基礎	101
6－7月	インスリン療法の基礎知識	145
	新生児の反応からケアを考えてみよう	46
	誰でもできる！家族との援助関係の構築	92
	治療の基礎：放射線療法の基礎	71
7－8月	食道がん手術を学ぼう	105
	安全な食事介助について	40
	ショックと侵襲について	70
	感染対策の必要性を考える	81
8－9月	退院支援における家族看護	40
	ケアに活かせる創傷の基礎知識	77
	治療の副作用：がん薬物療法における急性毒性①（アレルギー）	31
9－10月	指導に活かせる食事療法の基礎知識	45
	脳梗塞患者の看護をマスターしよう	118
	痛みの特徴・鎮痛薬の基礎と看護	47
	病院で気をつける微生物を学ぶ	54
10－11月	家族の意思決定支援～意向のずれを考える～	35
	創傷ケア～正しく使おう！創傷被覆材～	115
	摂食嚥下の解剖生理と評価	37
	治療の副作用：がん薬物療法における急性毒性②（血管外漏出）	33
	治療後のケア：治療によるむくみのケア	68
11－12月	高齢者のせん妄看護 応用編	156
	急性期輸液の基礎知識	58
	もう戸惑わない！がん患者とのコミュニケーション	89
	新生児の呼吸と体温管理の基礎	70
	知って得する！心不全の基礎知識	27
12－1月	院内脳卒中を見逃さない	110
	治療後のケア：がん薬物療法の副作用	19
	治療後のケア：放射線療法に伴う有害事象のケア	19
1－2月	認知症高齢者の尊厳を守る看護	49
	術式別観察ポイント	72
合 計		2,635

(3) 院内講義

年月日	講義内容	講 師	参加人数
令和5年7月31日	看護の動向	看護部長 越智比奈子	80
令和5年9月5日	継続看護	長谷部ひとみ	69
令和5年10月30日	病院の経営	事務局長 大東幹彦	72
令和6年1月31日	専門認定活動報告	秦 真由美、安田純子、山口和佳子、 島田朋奈、荒木 周、柿沼香里、 加莉 彰	59
令和6年1月31日	教育委員発表会		41
合 計			321

(4) 事例から考える看護発表会

4 回開催

参加人数：246人

2) 院外における研修・学会など参加状況

主 催	内 容	受講人数
大阪府看護協会	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	8
	看護補助員の活用推進のための看護管理者研修	10
	短期研修	34
	看護管理者研修	7
豊中市	短期研修	20
	管理者研修	22
全日本病院協会	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	4
全国自治体病院協議会	看護補助体制指導者要綱研修	3
S-QUE研究会	看護補助者の更なる活用に係る評価のための研修	4
市立豊中病院	JMECC-市立豊中病院 (RRS)	4
関西ストマケア研究会	第44回 関西ストマケア講習会	1
東京がんのリハビリテーション研修運営委員会	がんリハビリテーション研修	2
エルゼピアジャパン	中小規模病院における看護職の働き方の発展	4
関西臨床倫理研究会	関西臨床倫理研究会 ベーシックコース	5
合 計		128

主 催	学会名	開催地	受講人数
大阪府看護協会	第10回大阪府看護学会（現地＋WEB）	大阪府	25
日本創傷・オストミー失禁管理学会	第33回日本創傷・オストミー失禁管理学会学術集会	仙台市	1
日本糖尿病学会	第66回日本糖尿病学会	鹿児島	2
日本看護学会	第54回日本看護学会	大阪府	2
合 計			30

3) 院外における教育活動

学術・研修活動（市立豊中病院主催・共催・その他）

◎市立豊中病院主催・共催

- 感染管理認定看護師教育課程 入試委員会
鈴木徳洋 大阪市、オンライン会議 令和5年4月18日
- 大阪府看護協会 施設代表者会
社会福祉施設訪問事業報告
鈴木徳洋 吹田市、国立循環器病研究センター 令和5年4月27日
- 感染管理認定看護師教育課程
ケースレポート発表会、実習指導者会議
鈴木徳洋 大阪市、大阪府看護協会 ナーシングアート大阪 令和5年4月28日
- 大阪府看護協会 認定看護管理者教育課程
ファーストレベル演習講師
木本正美 大阪市、大阪府看護協会 マルイトOBPビル8階 令和5年5月31日、6月14日、28日
- 大阪府看護協会 教育委員 研修担当
曽根光子 大阪市、大阪府看護協会 ナーシングアート大阪
令和5年6月6日、10月3日、11月15日、令和6年1月17日、2月10日
- 大阪府看護協会 認定看護管理者教育課程
サードレベル応募小論文評価打ち合わせ会
藤田幸恵 大阪市、大阪府看護協会 マルイトOBPビル8階 令和5年6月27日
- 第38回日本がん看護学会学術集会 査読委員
二宮由紀恵 オンライン査読 令和5年8月25日－9月8日
- 大阪府看護協会 大阪府地域医療計画に係る情報交換会
藤田幸恵 大阪市、大阪府看護協会 マルイトOBPビル 令和5年9月8日
- 大阪府看護協会 推薦委員会委員
藤田幸恵 東京都 渋谷区、看護協会 令和5年9月19日
- 市立豊中病院 地域医療連携WEBセミナー ◎
インスリン療法の基礎知識
下須賀香奈子 豊中市、Web開催（市立豊中病院） 令和5年9月29日
- 市立豊中病院 地域医療連携WEBセミナー ◎
指導に活かせる食事療法の基礎知識
下須賀香奈子 豊中市、Web開催（市立豊中病院） 令和5年10月20日
- 箕面市立病院感染制御部 感染リンクナース交流会
鈴木徳洋、志水春乃、西田亜希恵 箕面市、箕面市立病院 令和5年11月15日
- 第11回 大阪府看護学会 学会委員
濱田紀子 大阪市、ハイブリッド開催（大阪府看護協会 ナーシングアート大阪）
令和5年12月2日－令和6年1月12日
- 公立大学法人大阪公立大学大学院
家族看護学の知識を問う問題の作成
山口 望 大阪市 令和5年12月4日
- 市立豊中病院 地域医療連携WEBセミナー ◎
「イラストでつかむ！」嚥下のしくみ
加蒔 彰 豊中市、Web開催（市立豊中病院） 令和5年12月15日
- 感染管理認定看護師教育課程 実習指導者会議
鈴木徳洋 大阪市、大阪府看護協会 ナーシングアート大阪 令和5年12月25日

■2023年度特定行為研修修了者のためのフォローアップ講習会

臨床判断力を上げるための臨床推論の演習

鈴木徳洋 兵庫県 神戸市、神戸研修センター 参加者：50名 令和6年2月10日

■市立豊中病院 地域医療連携WEBセミナー ◎

「気づきで防ぐ！」誤嚥性肺炎予防の実践

加莉 彰 豊中市、Web開催（市立豊中病院） 令和6年2月16日

■特定行為研修フォローアップ研修 特定行為研修の魅力について語ろう！～専門性が発揮できる環境を目指し～

病院で活躍するクリティカルケア認定看護師

加藤和成 大阪市、Web開催（ナーシングアート大阪） 参加者：120名 令和6年3月9日

■市立豊中病院 地域医療連携WEBセミナー ◎

患者の「食べたい！」を支える嚥下機能評価の基本

加莉 彰 豊中市、Web開催（市立豊中病院） 令和6年3月15日

■日本がん看護学会 日本がん看護学会誌 査読委員

二宮由紀恵 オンライン査読 令和5年4月1日－令和7年3月31日

■武庫川女子大学看護学部 実習指導者運営委員会委員

斉藤百恵 市立豊中病院 令和5年4月1日－令和6年3月31日

■公益社団法人大阪府看護協会 感染管理地域ネットワーク 支部リーダー

鈴木徳洋

大阪市、大阪府看護協会 マルイトOBPビル 令和5年4月1日－令和6年3月31日の月1回程度の定例会

■公益社団法人大阪府看護協会 教育委員会委員

曾根光子

大阪市、大阪府看護協会 マルイトOBPビル 令和5年4月1日－令和6年3月31日の月1回程度の定例会

■公益社団法人大阪府看護協会 学会委員会委員

濱田紀子

大阪市、大阪府看護協会 マルイトOBPビル 令和5年4月1日－令和6年3月31日の月1回程度の定例会

■公益社団法人大阪府看護協会 感染対策委員会委員

鈴木徳洋

大阪市、大阪府看護協会 マルイトOBPビル 令和5年4月1日－令和6年3月31日の奇数月の定例会

4) 院外活動

学会発表

■高齢糖尿病患者の治療効果に関連するセルフケア能力とその関連因子の検討

柴田明日香、岡内幸義、下須賀香奈子、橋本千穂

第66回日本糖尿病学会年次学術集会

鹿児島 鹿児島市、ハイブリッド開催（城山ホテル鹿児島、かごしま県民交流センター、宝山ホール）

令和5年5月11日－13日

■コロナ禍における分娩取り扱い施設が行う育児支援の拡大－産後ケア事業の拡大に焦点を当てて－

濱田紀子、斉藤百恵

第54回日本看護学会学術集会

大阪市、大阪国際会議場 令和5年9月29日－30日

■難病を抱える若年患者の自宅退院への支援～信頼関係の構築から目標達成を目指す～

佐々木あいな

第11回大阪府看護学会

大阪市、ハイブリッド開催（ナーシングアート大阪） 令和5年12月2日

■呼吸不全を繰り返し危機状態にあった患者への看護

岡村美月

第11回大阪府看護学会

大阪市、ハイブリッド開催（ナーシングアート大阪）

令和5年12月2日

■授乳方法に関する情報が不足している経産婦への意思決定支援

児玉志穂

第11回大阪府看護学会

大阪市、ハイブリッド開催（ナーシングアート大阪）

令和5年12月2日

講習・講演

■家族看護

山口 望

大阪病院附属看護専門学校

大阪市、大阪附属看護専門学校 令和5年4月19日、5月10日、24日、6月7日、7月12日

■看護学科専門教育科目「感染看護論」：臨床における感染管理の実践Ⅰ

赤瀬 望

千里金蘭大学

吹田市、千里金蘭大学

令和5年4月19日

■胃癌治療の周辺知識の向上

秦 真由美

Lilly GC Web Conference

新潟県 新発田市、Web開催(新発田駅前複合施設イクネスしばた)

令和5年4月21日

■看護学科専門教育科目「感染看護論」：臨床における感染管理の実践Ⅱ

鈴木徳洋

千里金蘭大学

吹田市、千里金蘭大学

令和5年4月26日

■成人看護学概論：がん診療連携拠点病院で治療を受ける患者の理解と看護

二宮由紀恵

摂南大学看護学部

枚方市、摂南大学枚方キャンパス

令和5年5月19日

■千里金蘭大学オープンキャンパス 卒業生講演

宇津出愛、木村彩也香

千里金蘭大学

吹田市、千里金蘭大学

令和5年6月18日、8月13日

■教えて先輩！～1年生の過ごし方、乗り越え方～

相川美優

宝塚大学看護学部 シャトル研修

大阪市、ハイブリッド開催（宝塚大学 大阪梅田キャンパス）

令和5年9月17日

■感染に係る薬剤投与の管理の実践

鈴木徳洋

日本看護協会 特定行為研修

兵庫県 神戸市、神戸研修センター

令和5年9月21日

■医療関連感染サーベイランス

鈴木徳洋

感染管理認定看護師教育課程

徳島県 徳島市、Web開催（徳島大学大学院医歯薬学研究部看護リカレント教育センター）

令和5年9月26日

■ストーマケア、創傷管理、失禁などの基礎知識

大西智香子

関西ストーマケア講習会・関西STOMA研究会

大阪市、森ノ宮医療大学

令和5年10月1日

診療部門の現況と研究研修事項

IV 看護部の現況と研究研修事項

■タスク・シフト／シェアが求められる時代の消化器がんチーム医療

秦 真由美

第61回日本癌治療学会学術集会イブニングセミナー

神奈川県 横浜市、パシフィコ横浜

令和5年10月20日

■OSAKA CINV Seminar

秦 真由美

大鵬薬品工業株式会社

大阪市、AP大阪駅前B2F APホール

令和5年11月21日

■感染防止技術

鈴木徳洋

感染管理認定看護師教育課程

大阪市、大阪府看護協会ナースングアート大阪

令和5年11月27日

■医療関連感染サーベイランス

鈴木徳洋

感染管理認定看護師教育課程

大阪市、大阪府看護協会ナースングアート大阪

令和5年11月27日

■認知症患者の対応について

柴田明日香

甲聖会記念病院

吹田市、甲聖会記念病院 談話室

令和5年11月29日

■化学療法室におけるチーム医療について

秦 真由美

アステラス製薬株式会社・レクチャーミーティング

豊中市、千里ライフサイエンスセンター

令和6年1月18日

■感染に係る薬剤投与関連：感染に係る薬剤投与管理の実際

鈴木徳洋

日本看護協会 神戸研修センター 特定行為研修

兵庫県 神戸市、神戸研修センター

令和6年2月1日

■がんとの共生を支える専門看護師の実践

二宮由紀恵

大阪公立大 がんプロ／次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

大阪市、阿倍野ハルカス会議室

令和6年3月2日

司会・座長・その他

■司会：下須賀香奈子

医師兼患者の立場から見たリアルタイムCGMの活用方法

演者：大阪医療センター 加藤 研

豊中CDEセミナー2023

豊中市、市立豊中病院

令和5年11月18日

■座長：二宮由紀恵

一般演題 口演 第3群「チーム医療1」

第38回日本がん看護学会学術集会

兵庫県 神戸市、ハイブリッド開催（神戸国際展示場）

令和6年2月24日

受賞

■看護業務の効率化先進事例アワード2023 優秀賞

木本正美

日本看護協会

東京都、Web開催（日本看護協会）

令和5年12月22日

寄稿文・テレビ・ラジオ・その他

■大阪府看護協会「看護の日・看護週間」事業

掛布美樹

大阪府看護協会

大阪医科薬科大学看護学部

令和5年5月13日

■とよなかオレンジフェア

柴田明日香

虹ねっと連絡会 認知症支援部会

豊中市立文化芸術センター

令和5年9月28日

■取材：診療科・医局の特徴、力を入れて取り組まれていること

秦 真由美

FOUCUS Next

アステラス製株式会社

令和5年12月22日

■取材：千里金蘭大学大学案内

木村彩也香、篠田響子

卒業生特集BEFORE&AFTER 千里金蘭大学大学案内、公式ホームページ、SNS

令和6年1月16日

■市内産科医療機関・母子保健連絡会

掛布美樹、瀧田紀子

豊中市こども未来部

中部保健センター

令和6年2月29日

■大阪府地域医療計画に係る情報交換会

藤田幸恵

大阪府看護協会

大阪府看護協会 マルイトOBPビル8階

令和6年3月8日

■インタビュー：外来看護について

徳田明美、柴田明日香

甲南女子大学看護学リハビリテーション学部看護学科

甲南女子大学

令和6年3月11日

■教材改定：「臨床アドバンスコース」高齢者によくある症状；不眠

柴田明日香

臨床看護のeラーニング『CandYLink』

株式会社メディカ出版 臨床教育ソリューション部門

令和6年3月30日

■教材改定：「臨床アドバンスコース」高齢者によくある症状；誤嚥性肺炎

柿沼香里

臨床看護のeラーニング『CandYLink』

株式会社メディカ出版 臨床教育ソリューション部門

令和6年3月30日

5) 実習生の受入れ状況

施 設	実習項目	総人数
梅花女子大学 看護学部	母性看護学実習	81
	総合実習	8
	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	8
	小児看護学実習	17
園田学園女子大学 人間健康学部	ファースト基礎実習	20
	経験値統合実習（小児看護学）	2
	育成看護学実習・小児	5
大阪青山大学 看護学部	小児看護学実習	5
	成人看護学実習Ⅱ（急性期）	9
千里金蘭大学 看護学部	小児看護学実習	16
	基礎看護学実習Ⅰ	50
	基礎看護学実習Ⅱ	45
	総合看護学実習	24
	成人看護学実習（クリティカルケア）	49
四條畷学園大学 看護学部	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	17
	母性看護学実習	13
北斗会看護専門学校	母性看護学実習	20
	小児看護学実習	20
	基礎看護学実習	10
大阪府病院協会看護専門学校	母性看護学実習	5
武庫川女子大学看護学部	母性看護分野	4
大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻	助産学実習	1
大阪府立公立大学大学院 看護学研究科	周産期助産学実習	1
千里金蘭大学	助産学実習	1
大阪公立大学大学院看護学研究科	家族看護学実習1	1
大阪公立大学大学院看護学研究科	家族看護学実習2	1
大阪公立大学大学院看護学研究科	老年看護学実習	1
合 計		434

6) 一日看護体験

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止していた一日看護体験を4年ぶりに再開し、以下の日程で受入れた。

○令和5年7月6日 9：30－15：30 看護協会主催

初芝富田林高等学校 学生2名

8階北病棟での看護体験（血圧測定、清拭、洗髪、寝衣交換、シーツ交換、車椅子移動・搬送、ベッド移送、その他部署で体験できる簡単な援助）

○令和5年8月10日 9：30－15：30 大阪府主催

渋谷高等学校 学生7名（当日欠席3名）

5階南病棟、6階北病棟、6階南病棟、7階北病棟、7階南病棟での看護体験

（血圧測定、清拭、洗髪、寝衣交換、シーツ交換、車椅子移動・搬送、ベッド移送、その他部署で体験できる簡単な援助）

参加者の中には幼少期の頃から看護師をめざしていた人もおり、「今回の体験を通じて、大変な職業ではあるが、ありがたいと言われ素敵な仕事だと言ってもらえることができました。また、病気だけでなく生活も見てケアをしていることがわかった。」との感想があった。また、受入れを担当した者も初心に振り返る機会となっていた。

5. 外来部門

令和5年度より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更となり、外来患者数は徐々に増加傾向となった。それに伴い外来における患者支援のうち、在宅療養指導件数は前年度に比較して増加した。なかでも、自費診療の合計件数は、令和4年度より著しく増加した。

指導算定対象では、在院日数の短縮により早期から在宅での療養に移行することから、在宅成分栄養経管栄養（前年度比：133.0%）、気管カニューレ挿入患者（前年度比119.4%）、留置カテーテル挿入患者（前年度比102.7%）、への介入が増加した。

指導料非算定対象は、手術・化学療法・検査の増加に関連し、外来支援では全身麻酔術前支援（前年度比186.0%）、腰麻・局麻術前支援（前年度比108.9%）、外来手術（前年度比131.9%）、弾性ストッキング指導（前年度比123.1%）が増加した。

外来診療以外の外来項目のうち増加した項目は、術後リンパ浮腫予防指導17件（前年度比：283.3%）、がん患者指導管理料481件（前年度比：104.7%）、心不全看護外来208件（前年度比：107.7%）、リンパ浮腫外来349件（前年度比：111.5%）であった。その他の項目では、フットケア外来27件（前年度比：69.2%）、ストーマ外来人工肛門造設患者266件、人工膀胱造設患者94件（前年度比：人工肛門造設患者80.3%、人工膀胱造設患者96.9%）であり看護師が専門性を発揮できている。

1. 在宅療養指導件数（指導料算定対象）

項 目	件数	前年度比
在宅自己注射	131	99.2%
糖尿病透析予防指導	0	0.0%
在宅成分栄養経管栄養	88	133.0%
人工肛門造設患者	266	80.3%
人工膀胱造設患者	94	96.9%
気管カニューレ挿入患者	43	119.4%
留置カテーテル挿入患者	38	102.7%
セルフカテーテル指導	137	—
在宅療養指導	131	114.9%
合 計	928	111.5%

4. 在宅療養指導件数（指導料非算定対象）

項 目	件数	前年度比
全身麻酔術前支援	562	186.0%
腰麻・局麻術前支援	1,325	108.9%
外来手術	624	131.9%
治療・検査・処置の説明	4,005	89.6%
患者・家族への精神的援助	280	66.8%
算定外の在宅療養指導	19	14.7%
弾性ストッキング指導	245	123.1%
リンパ浮腫への援助	2	16.6%
リンパ浮腫教室	44	107.3%
心不全看護外来	208	107.7%
合 計	7,314	108.2%

2. その他の加算

項 目	件数	前年度比
フットケア	27	69.2%
術後リンパ浮腫予防指導	17	283.3%
がん患者指導管理料	481	104.7%
臍ヘルニア圧迫指導管理料	37	51.3%
合 計	562	97.5%

3. 自費診療

項 目	件数	前年度比
授乳相談	96	103.2%
リンパ浮腫外来	349	111.5%
エジンバラ産後うつ検診	1,079	105.8%
合 計	1,524	151.6%